

平成28年度総合がんセンターボード実績

日付	種別	参加人数	内訳	症例No	年齢	性別	疾患およびコメント
4月20日	総合	37	医師:28名 看護師:2名 薬剤師:4名 技師:1名 事務:2名	1	70	男	乳頭部Ca術後 stgae IIB CEA2.4→16 主膵管拡張・膵嚢胞性病変も増大傾向にあり。→PET検査を行う。可能ならEUS下穿刺。
				2	58	男	上行結腸癌。今回比較的新鮮な多発脳梗塞あり。→手術の時期について→現時点ではADLも悪
				3	59	男	体上部の早期胃癌ESD後。病理結果でUL+, 3cm, sm1→追加切除の適応について。→ガイドライン通りに患者に説明する。病理医からのコメントもあり
5月18日	総合	37	医師:26名 看護師:3名 薬剤師:3名 技師:2名 事務:3名	4	55	女	大腸癌術後・膵がん術後。多発性再発肝転移疑い。外科的切除や化学療法の治療方針について
				5	68	女	胃癌+癌性腹膜炎疑い 横行結腸閉塞あり。今後大腸閉塞を来した際の治療について(外科的切除、ステントなど)
6月15日	総合	43	医師:32名 看護師:4名 薬剤師:4名 技師:1名 事務:4名	6	65	男	胃GIST術後再発。グリベックで縮小しており今後の外科的切除の適応について。(ガイドライン上は再発の場合、切除はオプション)
				7	50	女	2016年2月のがんセンターボードで提示された腹腔内巨大腫瘍。切除後の報告(病理結果も含めて)
7月20日	総合	53	医師:38名 看護師:4名 薬剤師:3名 技師:4名 事務:4名	8	76	男	術後症例。総胆管の狭窄で胆管癌として外科的切除したが、病理所見では悪性所見は認めず。術前IgG4正常。病理の先生も交えて症例の見直し。
				9	59	男	透析中。今回腎腫瘍と肝腫瘍を指摘。上下部内視鏡検査では異常なし。今後の治療方針について泌尿器科の先生も交えて相談。
8月17日	総合	38	医師:33名 看護師:1名 事務:3名	10	79	女性	術後症例。結果的には膵尾部癌。悪性リンパ腫に対する放射線照射歴などもあり、術前は放射線の影響なども示唆された。
				11	70	女性	燧頭部腫瘍。腫瘍疑い。切除可能かどうかなど治療方針決定。
				12	71	女性	HCCIに対してTACE施行。腹水や脈管浸潤によりTACE継続は困難。動注療法(単発あるいはリザーバー)について。 *透析中でありネクサパールは使用不可。
				13	70	男性	膵炎後。尾部に嚢胞性病変も出現。大腸脾弯曲部に腫瘍性病変疑いであったが、生検では悪性所見なし。PET検査にて膵炎が落ち着いた後には集積も強く、膵尾部Caなどの可能性について。
9月21日	総合	32	医師:24名 看護師:2名 技師:1名 事務:5名	14	76	男性	肝内単発腫瘍+胆管狭窄(炎症性の疑い) 腫瘍の病理説明と、TACEによる治療効果の経過。今後の治療選択としてTACEあるいは切除。
				15	77	男性	多発肝癌+骨転移。今後TACEを継続するか、ネクサパールを開始するか(併用は不可)
10月19日	総合	48	医師:39名 薬剤師:2名 看護師:1名 技師:3名 事務:3名	16	76	男性	肝内単発腫瘍+胆管狭窄(炎症性の疑い) 腫瘍の病理説明と、TACEによる治療効果の経過。今後の治療選択としてTACEあるいは切除。
				17	77	男性	多発肝癌+骨転移。今後TACEを継続するか、ネクサパールを開始するか(併用は不可)
11月16日	総合	62	医師:33名 薬剤師:2名 看護師:5名 技師:9名 事務:13名	がんセンター研修会「臨床研究における統計学の基礎」京都市立医科大学生物統計学 手良向 聡先生			
12月14日	総合	27	医師:15名 看護師:3名 技師:1名 事務:2名	18	74	男性	膵腫瘍。切除可能かどうか。病理診断のためのERCPまたはEUS-FNAの適応について。
				19	81	男性	大腸癌術後(2012年 stage IIIa) 肝腫瘍出現にて再発疑い。治療方針に関して。塞栓術の適応の有無など。
				20	56	女性	膵がん術後(2015年stage IVa)肝転移にて再発。増大傾向にあり、門脈本幹の浸潤も疑われる。抗がん剤はFOLFIRINOXからGEM+ABIIに変更予定。門脈への放射線照射の適応について。
1月18日	総合	33	医師:27名 看護師:4名 事務:2名	21	73	女性	燧頭部腫瘍。FNAでadenocarcinoma疑い。画像上門脈浸潤はあり。切除可能かどうか。
				22	59	女性	1/13に指摘された直腸Ca。スコープの通過は不可。造影CTは1/18の予定。転移がない場合でもメタリックステントの必要性があるかどうか。
2月15日	総合	31	医師:26名 看護師:4名 事務:1名	23	61	男性	腹腔内腫瘍。脂肪成分を含む腫瘍疑い。治療方針について
				24	75	男性	膵嚢胞性病変。嚢胞内結節の疑い。IPMN疑い。 *ADEM後でプレドニン10mg内服中 切除の適応について。
				25	83	女性	肝彎曲部の大腸Ca+多発肝転移 狭窄強くガイドワイヤーの通過も困難でありステント不可。今後の治療方針について。
3月15日	総合	31	医師:23名 看護師:2名 技師:4名 事務:2名	26	76	男性	進行胃癌。切除可能かどうか。
				27	93	男性	胃癌による幽門輪狭窄。幽門輪へガイドワイヤーが通過せず。御高齢であるが閉塞解除目的の原発切除あるいはバイパス術の適応について